





1 2 五色園区防犯パトロール隊（日進市）

地域自主防犯活動活発化促進事業

実施結果報告書

1 団体名	五色園区防犯パトロール隊
2 事業名	住宅対象侵入盗対策事業
3 事業実施結果	<p>住宅侵入盗を撲滅し、安心・安全な街づくりのため、以下の活動を実施した。</p> <p>1. パトロール体制の強化</p> <p>①. 「五色園区見守り隊」の新編成と実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常的な愛犬の散歩や健康維持のウォーキングを防犯活動に結び付けるために、「五色園区見守り隊」を新設すべく隊員を募集した。 その結果、 <ul style="list-style-type: none"> ・ ワンワンパトロール隊 31名 ・ ウォーキングパトロール隊 54名 の応募を得た。 ・ 隊員は、新たに調達したロゴマーク入り帽子と専用ベストを着用し、早朝・昼間・夕刻のそれぞれの時間帯で個別にパトロールを行った。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>ロゴマーク</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ロゴマーク入り帽子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>専用ベスト</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>五色園区見守り隊：発足会でのスローガンの唱和</p> <p>☆「五色園区に不審者を近づけるな！」</p> <p>☆「安心・安全な五色園区をつくろう！」</p> <p>☆「五色園区見守り隊 がんばろう！」</p> </div>



活動中のワンワンパトロールとウォーキングパトロールの隊員

②. 青色パトロール車による巡回の強化

平成19年に青パト車を自費購入し、パトロール実施者証所有者93名、同乗協力者32名(合計125名)を有して活動を続けてきたが、更なる効果的な運用を目指し以下の改善処置を行った。

- i. 夜間巡回の一部を昼間にシフト
- ii. 巡回回数を15回/月から20回/月に増強
- iii. 不審者の意表を突く為、アトランダムな任意の時間に巡回
- iv. スピーカーによる広報内容の充実



パトロールに出掛ける青パト隊員



パトロール経路図 (全長 15 km)

③. 歩行パトロールの実施

- ・留守宅が多くなるゴールデンウィーク（4/28 から 5/6 9 日間）に延べ参加人員 95 名により、区内を隈なく巡回する歩行パトロールを実施し、侵入盗犯罪を防止した。
- ・恒例行事の年末パトロールを 12 月 26 日・27 日の 19 時 30 分より、子ども達を含め延べ参加人員 137 名により実施した。



年末パトロール隊の出発式

掛け声を張りあげるパトロール隊員

④. ベストを羽織ろう運動の展開

- ・「明るく住みよい街づくり」をデザインしたオレンジ色の五色園区統一ベストを作成した。
- ・自治会役員に配布し、区内での外出時には、これを羽織ることとした。
- ・これにより、五色園区の防犯色（オレンジ色）が日常的に区内に溢れ、不審者を圧倒し駆逐することを狙った。



五色園区統一ベスト



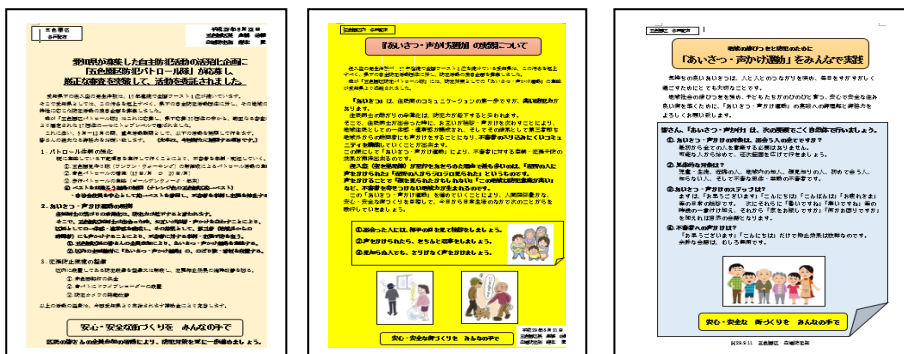
「五色園区自治会統一ベスト」を着用した役員

2. あいさつ・声かけ運動の展開

①. あいさつ・声かけ運動の推進

あいさつ・声かけが住民同士の連帯感を高め、コミュニティ活動の推進と、防犯に有効であることを周知し、全員参加の運動を行った。

- ・運動の意義についてのチラシを各戸配布（1, 300枚/1回）・・・3回
- ・啓發文書回覧・・・1回
- ・啓発備品（のぼり旗、横幕、立て看板）の設置・・・20か所27品点



各戸配布した「あいさつ・声かけ運動」の啓發文書



「あいさつ・声かけ運動」の啓発備品の設置状況

②. 標語の募集と優秀作品の看板への表記

- ・「あいさつ・声かけ運動」の理解を深め、強力に推進するため、全自治会員を対象に標語の募集を行った。

- ・その結果、小中学生：18作品
一般・大学生：47作品の応募を得た。

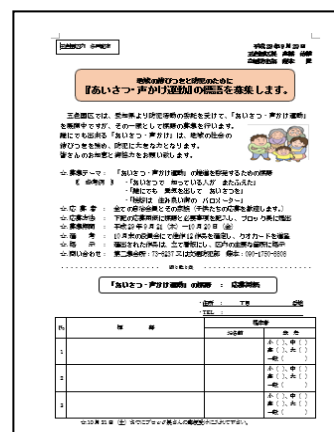
- ・校区の校長先生、家庭教育推進委員会委員長、自治会役員等

13名により優秀標語15作品

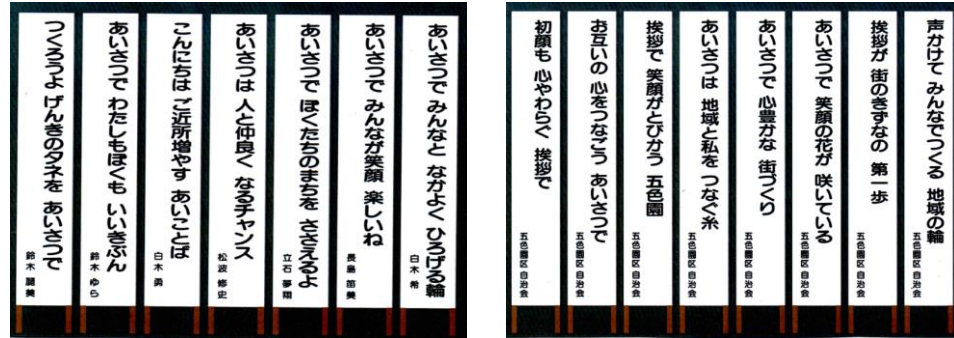
（小中学生：7作品、一般・大学生：8作品）

を選考した。

- ・この優秀標語は看板に表記して、区内の主要箇所に掲示した。（次頁掲載）



標語募集の各戸配布文書



あいさつ・声かけ運動：看板に表記した優秀標語

3. 犯罪防止環境の整備

①. 青パトによる監視体制の強化

- ・パトロール中に不審な車両や不審な人物に遭遇した場合、これを録画し関係当局へ情報提供をするため、ドライブレコーダーを設置した。
- ・異常を録画した場合には、MicroSDHC カードのデータを PC に落とし込み、USB メモリーに収録し関係当局へ提出することとした。



青パト車に設置したドライブレコーダー

②. 赤色回転灯の保全

- ・平成 23 年に区内 6 箇所に設置した赤色回転灯は、部品の損耗により作動不良が発生するようになった。電球の LED 化、モーター及びローターゴムの交換等の整備を行い、機能を確保した。



整備した赤色回転灯

③. 防犯カメラの機能改善

- ・平成26年に設置した2箇所の防犯カメラは、警察からの録画データの提供要請に応えるためには、高所での作業と長時間のデータダウンロード作業が必要であった。そこでHDD脱着可能型デジタルレコーダセット方式への変更と、取付け高さの低位置化を行い、作業性と安全性の向上を確立し、警察当局への情報提供の即応体制を整えた。



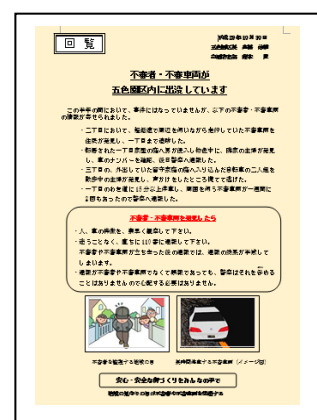
機能改善を行った防犯カメラ

4. 防犯意識の啓発活動

①. 防犯に関わる文書の配布・回覧

防犯意識の啓発を図るために、以下のチラシ・文書を配布した。

- ・全戸配布チラシ・・・2回
(愛知地区防犯協会連合会及び愛知県地域安全課提供)
- ・回覧文書・・・・・・1回
(「不審者・不審車両が五色園区内に出没しています」)



配布した防犯チラシと回覧文書

②. 防犯グッズの配布

今回の活動に関連して、関連部局・組織より防犯グッズの提供を受けた。

- ・日進市役所 生活安全課よりの提供品：
補助錠（大）160個、補助錠（小）45個、蛍光ペン300本 他
- ・愛知地区防犯協会連合会よりの提供品：
自転車のナンバーキー130個、サッシストッパー65個 他

これらは、12月26日・27日の年末パトロール実施時に配布し、防犯意識の高揚を図った。



配布した防犯グッズの一部

③. 防犯に関する広報活動

- ・4か月に1回発行の機関紙「伝書鳩」に防犯情報を掲載
- ・「五色園区自治会ホームページ」により、リアルタイムに防犯情報を提供



機関紙「伝書鳩」



ホームページ「五色園区自治会」

五色園区スローガン

明るく住みよい 街づくりを みんなの手で

防災・防犯活動

コミュニティ活動

安心・安全な 街づくりを みんなの手で

<p>4 成果と課題 及び今後の 取組み</p>	<p>(1) 事業実施の成果及び課題</p> <p>○平成27・28年度の2年間において、住宅侵入盗が毎年5件発生し、愛知県警察本部の安全・安心マップに侵入盗多発地域としてマークされる危機的状況となり、「これではいけない」と区民の防犯意識は大きく高まった。</p> <p>○それは、青パトの「パトロール実施者証講習会」の新規参加者が31名もあったことに現われ、青パト乗務者が総勢125名となったことが今年度の青パト巡回回数が増強に繋がり、侵入盗抑止に結びついている。</p> <p>○更に、本年「五色園区見守り隊」(ワンワンパトロール、ウォーキングパトロール、安全運転呼びかけ)を新編成すべく応募者を募ったところ、予定の2倍を超える98名の応募者があったことにも現われ、これは「安心・安全な街づくりに少しでも役に立ちたい。」という意識が高まっていることの証左と言える。</p> <p>○「あいさつ・声かけ運動」は、連帯感の醸成というコミュニティ活動としての側面と、それに伴う防犯面としての効果を繰り返し各戸配布資料等により訴えて来たが、それが理解され実践活動に生かされつつある。 しかし、未だ根付いているとは言い難く、繰り返しの啓発活動が必要である。</p> <p>○本事業の中で、防犯活動のソフト的な面として「地域の見守りの目」によるパトロール活動の充実、「あいさつ・声かけ運動」を中心としたコミュニティ活動の推進、そしてハード的な対応として、不審者を寄せつけない防犯施設の保守・改善を行ってきた。 この両面の活動による成果として侵入盗発生件数ゼロを1年余継続中であり、安心・安全な街づくり構築の端緒を開くことができた。</p> <p>○しかし、この状況を維持していくためには、五色園区防犯パトロール隊のたゆみない活動と、これに応えた区民の防犯意識の高揚・実践の両輪が不可欠であり、この両者の着実な連携を保って行くことが必要である。</p> <p>(2) 今後の取組み</p> <p>○防犯の問題は、哀しいことに世の中が劇的に良い方向へ変わらない限りは、永く続くことであり、息の長い防犯活動の継続が肝要である。</p> <p>○この様な状況の中で、活動がマンネリ化や形骸化することなく、効果を発揮していくためには、随所で刺激を与える斬新な施策が必要である。</p> <p>○その為には、有能で献身的な旗振り役と、それを支える活力に満ちたリードオフマンの存在が必須であり、その人材の確保が重要である。</p> <p>○従って、今後は意欲ある人材の発掘と育成に注力し、今回の活動を基盤として、更なる効果的な活動企画を立案・実践していく。</p>
----------------------------------	---